80. 住宅照明に関する保守管理面からの検討

加藤太佳子 井上容子
(奈良女子大学)

1. 目的

本研究は照明設備の使いやすさや経済性を配慮した照明計画を考究していくための資料を得ることを目的とする。居住者の住宅照明に対する問題意識を、照明設備の実態や選択方法、保守管理の実態及び関心度の面から明らかにするために、アンケート調査を行った。本報では問題点として抽出された事項と、その主要項目の検討結果について報告する。

2. 調査方法

表1に調査概要を示す。アンケート回答者は普段家庭で家事作業、特に住宅照明の保守管理を行っている者とし、住宅照明の平均的な状態を把握するために、日常生活で最もよくある状態を回答させた。また食堂の数が少ないため、本報では報告を省く。調査対象住宅の形式を表2に示す。一戸建て住宅を主として76件の回答が得られ、平均家族は4.1人で、居住者は20代が最も多く、次いで40代後半～50代が多い。

3. 調査内容

照明器具の選択時に重視した選択理由と、現状の満足・不満足理由それぞれについての全回答数に占める各項目の割合を図3に示す。選択理由と満足理由については「デザイン」が最も多く、24.6%と19.6%となっている。一方、不満足理由については、選択理由としてあまり考慮されていない「掃除」が18.2%、「ランプ交換」が19.4%とあげられており、保守管理の項目に対しての不満が多い。また「明るさ」に対しても9.4%と不満が多く、「消費電力」に対しても6.2%とあげられている。不満足理由である「明るさ」「消費電力」について、部屋の設置照明器具数(台/部屋)・定格電力(W/部屋)及び単位面積当たりの定格光束(lm/m^2)より検討した。図4-1～図4-2に居住者の「明るさ」に対する意識の高かった洗面所について示す。洗面所では定格電力(W/部屋)及び単位面積当たりの定格光束(lm/m^2)にばらつきが見られ、このことが「明るさ」「消費電力」に対する満足・不満足理由の申告が高かった理由と考えられる。最も不満足理由として上げられた保守管理について、掃除・点検・ランプ管理の面から検討を行った。保守管理全般の満足度について図5に示す。「満足」の回答は部屋によって違いがあるものの、全体の16%と低く、保守管理面全般において改善すべき問題があることが明らかとなった。しかし「不満」の回答も3.4%と低く、「不満なし」の回答が48%と多いことより、居住者の保守管理に対する認識にも差があると考えられる。

A Questionnaire Survey on Maintenance of Lighting Equipment in a House

KATO Takako, INOUE Youko

表1 調査概要

アンケート期間	1997年11月
アンケート項目	居住者・住宅の属性 照明器具の属性 (選択方法・種類・設置状況・使用目的・素材) 照明設備の満足点・不満点 保守管理の実態及び関心度

表2 住宅形式

項目	%	項目	%
所有形式		建築年数	
持ち家	93.2	10年未満	39.2
借家	6.8	10年以上	60.8
居住年数		形態	
10年未満	41.9	一戸建て	82.9
10年以上	58.1	集合住宅	17.1

図3 照明器具の選択・満足・不満足理由

図4-1 消費電力
(W/部屋)図4-2 光束
(lm/m^2)

図5 保守管理の満足度